業名	国営かんがい排水	事業	地区	名	ゅうふっとうぶ 勇払東部
節原果名	北海道	関係市町村名	ぁつまちょう <b>厚真町、</b>	むかね	b 町
稲 生い 被 せ用 でないる がながれて でなま では では では では では では では では では では	が畑作を中心とした見い。 では、厚真もしていまい。 では、厚まもでは、別では、とのはいると、代いでは、別では、いいでは、いいが生いが生い。 では、とをでは、がは、いいでは、のできる。 では、いいでは、では、では、では、できます。 では、できます。では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」には、」には、「は、」には、「は、」には、「は、」には、「は、」には、「は、」には、「は、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、「は、」には、」には、」には、「は、」には、」には、」には、」には、」には、」には、は、は、は、は、は、は、は、	農業地帯である。 流河川及び厚真ダ 遠流河川水施設ががり 短縮壊等によりり 直がないよりが 直がない。 真るの対かがり、 はいるがでは、 はいるがでは、 はいるができるができる。 はいるできるができる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできる。 はいるできるできるできる。 はいるできるできるできる。 はいるできるできるできるできる。 はいるできるできるできる。 はいるできるできるできるできる。 はいるできるできるできる。 はいるできるできるできるできるできる。 はいるできるできるできるできるできるできるできる。 はいるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる	ムに水源化に水源化に水源化 機能 機良業 人の 機能 場と経 が 機と経 が 関 と と が り 利用 が に い に い に い に い に い に い に い に い に い に	をとした 用水のでは 水のでは 水のでは 水のです からし	をしているが、用水不足がまって用水管理に苦慮して水は確保されていない。 周辺の農地において湛水路及び排水路を整備し、併良を行い、生産性の向上、定に資するものである。
受 益	: 面 積 3,386ha [事計画 ダム 1 揚水機	箇所(改修)、頭首 1箇所(新設)、1	工 1箇所 箇所(改修	<b>≩</b> )、	,
国営約 工	総事業費 31,500ī 期 平成129 (平成12	百万円(平成22年度 年度~平成32年度 2年度~平成29年度	度時点 32 P定 工事期	,971百 間)	ī万円)
平5 1%で なま	ሺ21年度までの進捗፯ ある。 う、厚幌ダムは、国:	土交通省におけるタ	ブムの新た	:な基2	準に沿った検証の対象とな
【関連事業の進捗状況】 道営ほ場整備事業等が実施されており、その進捗率は約54%である。					
本均 の 5 <sup>5</sup> 農 戸に派 は、農	也区の関係町である。 F間の農家の動向等の 養就業人口は1,252人 域少( 17.9%)してし 農家数の76.9%から8	の情勢変化をみると から1,048人に減り いるが、専業農家と 30.8%に増加してい	≤、以下の ♪( 16.3 ≤第1種兼 ↑る。	)とお! %)し、 ŧ業農!	りである。 農家数は、532戸から437 家を合わせた主業農家割合
営耕 <sup>均</sup> 農 こ 定 の め られ	也面積は、8.0haかg 養産出額は、64.6億[ Oように、本地域で[ O割合で確保され、約 れてきている。この。	ら9.4haに増加(17. 円から73.2億円に均 は労働力は全体とし 経営耕地面積も減り ような状況において	5%)し、; 曽加(13.3 って減少し いしている	経営規 %)し っている が、 <sup>『</sup>	規模は拡大が進んでいる。 ている。 るが、担い手となる農家は ■別経営では規模拡大が進
	「府 稲 生い 被 せ用 整 【	(で動き) (である) (である	(本地区は、北海道 関係市町村名 大海道 関係市町村名 大海道 に 大海 で な に 大海道 に 大海 で な に 大海 で な に 大海 で な に 大海 で は 大海 で な に 大海 で は 大海 で な に 大海 で は 大海 で な ま た い た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と か ら な た こ と が ら 9 % か ら 80 .8 % に 増 り か ら 80 .8 % に 増 り た る ら と に 農業 が よ な ら 2 を と に 農業 が よ な た こ と か ら 9 .4 時 に 農業 が よ な ら 2 を と に 農業 が よ な ら 2 を ら 2 を ら 2 を ら 3 を ら 4 は な ら 3 を ら 4 は な ら 4 は な ら 4 は な ら 4 は な ら 4 は な ら 4 は な ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 を ら 7 は 2 で な ら 7 は 2 を ら 7	東京の連接を表している。 は、北海道 関係市町村名 関係である。本地区は、厚真川とその支流河川及び厚真ダムに水朽化した。	本地区は、北海道胆振総合振興局管内東部に位置する厚真調循作及び畑作を中心とした農業地帯である。本地区は、厚真川とその支流河川及び厚真ダムに水源を依存生じているとともに、小規模な用水施設が多く、老朽化と相いる。また、代かき期間の短縮や深水かんがいに対応した用非水施設については、法面崩壊等により排水機能が低下し、被害及び過湿被害が生じている。このため本事業では場を整備することにより用水改良と排かの安定、でのため本事業では場を整備することにより用水改良と排かの安定、大人で関連事業では場を整備することにより用水改良と排がの安定、大人で関連事業では場を整備することにより用水改良と排がの安定、大人で関連事業の出たが、関連を関係が上で、大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大

# 【事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無】

事業の施行に係る地域

現時点で受益地域を変更する必要はない。

主要工事計画

現時点で主要工事計画を変更する必要はない。

## 事 業 費

評

価

目

平成22年度における総事業費は、32,971百万円であり、当初計画の31,500百万円から工法変更等により5%の増となっている。

# 【費用対効果分析の基礎となる要因の変化】

本地区では、作物生産量が増加する効果、営農経費・維持管理費が節減される効果、従来の施設機能が維持される効果を主な効果として見込んでいる。

費用対効果分析の基礎となる作物面積、作物単価、収量等については、現計画時点と比較し現況では変動が見られる。

厚真町の水田農業ビジョン等や関係機関の意見を聴取したところ、水稲を中心として土地利用型作物と収益性の高い労働集約型作物を適切に組合せた営農を目指しており、現計画の営農計画を変えるものではない。

項 以上のことを踏まえ算定した費用対効果分析の結果は以下のとおりであり、今回の 再評価時点においては、効果が費用を上回っている。

妥当投資額(B) 73,783百万円 総事業費 (C) 73,234百万円

投資効率 (B/C) 1.00

注)妥当投資額、総事業費には関連事業を含む。

### 【環境との調和への配慮】

厚真町では、地域の農村景観及び生態系の保全に配慮することとしている。 このため、本事業では、頭首工への魚道の設置、排水路における植生マットを活用 した自然配慮護岸の採用を行い、地域生態系への配慮を行うなど、環境との調和への 配慮に努めている。

#### 【事業コスト縮減等の可能性】

既設函渠工を利用したパイプインパイプ工法や浅埋設工法への変更により、事業コストの縮減に取り組んでいる。

## 【関係団体の意向】

北海道は、事業の実施に当たり、厚幌ダムに係る今後のダム検証の動向を注視し、事業の進捗を図って行く必要があるとしている。また、事業コストの縮減に努めるとともに、 関連事業の実施に当たり受益者及び関係機関と十分に連携を図る必要があるとしている。

関係町及び関係土地改良区は、町財政が厳しい状況となっているなか、事業完成は最優先だが、地元負担金が過度に増大とならないよう、より一層のコスト縮減を望んでいる。地域の農業生産の向上と農産物の産地形成による安定した農業経営を図るためには、事業確保は重要であるが、低コスト化、効率的な施工により総事業費内で完了できるよう望んでいる。工期延伸により現況施設は更に老朽化が進み深刻な状況となっていること、また、先行すべき本事業が遅滞することで関連事業の進捗にも影響が出ていることを懸念している。このことから、農家の高齢化が加速するなか、地域農業安定のために、農業基盤の整備は急務であり、関連事業との調整を図りながら、現工期内での早期完成を望んでいる。

#### 【評価項目のまとめ】

本地域の農業は、胆振東部地域の広域ブランド米「たんとうまい」の主産地として、地域における稲作の中心となるなど、地域経済を支える重要な産業となっている。

しかしながら、農家戸数の減少や高齢化の進行により、生産体制の弱体化や農村活力の低下が懸念されており、農業を取り巻く社会・経済情勢の変化に適切に対応できる高い技術と優れた経営管理能力を持つ農業者の育成や、高い生産性を維持できる農業基盤の整備が必要となっている。

地域の主要作物である稲作は、一層の良質・良食味米の出荷を目指しており、田植え期間の集中による代かき期間の短縮や冷害防止のための深水かんがいを行う必要があるが、河川流況の変動により用水不足をきたしているとともに、代かき期間の短縮や深水かんがい等近年の営農に対応した用水が確保されていない状況である。また、地区内の用水施設はかんがい用水を反復利用するための施設が多数設置されているとともに、老朽化による維持管理費が増加していることから、用水施設の改修と統廃合が不可欠となっている。

このため本地域においては、不足する用水を厚幌ダムに依存し、頭首工、揚水機場、用水路及び排水路の整備や取水施設の統廃合を行うとともに、その他末端用水施設やほ場整備を行うことで、土地生産性の向上、水管理の合理化、農作業の効率化を図り、農業経営の安定を図ることの必要性に変化は無い。

本事業は、環境との調和への配慮及びコスト縮減に努めつつ進捗を図ってきたところで ある。

関係団体からは関連事業とも連携を図り、今後ともコスト縮減に努め、早期に効果を発現することが求められている。

## 【技術検討会の意見】

良食味米の安定生産のためには、支渓流掛かりの水不足を解消するための用水や代かき 期間短縮のために必要な用水、深水かんがい用水の早期確保が必要と認められる。

地域用水機能の増進に係る取り組みの促進に向け、地域住民等との連携に努められたい。

現計画の総事業費に対し現時点の総事業費が増嵩しており、事業費の動向を把握しつ、一層のコスト縮減に努められたい。

厚幌ダム建設に係る動向を注視し、事業を進められたい。

美里頭首工の魚道については、下流に位置する統合頭首工(魚道無し)の撤去後、モニタリング調査による効果の検証に努められたい。

#### 【事業の実施方針】

代かき期の短縮や深水かんがいに必要な用水を確保し、広域ブランド米である「たんとうまい」の安定生産等による農業経営の安定を図るため、コスト縮減や環境との調和への配慮に努め、事業完了に向けて関係団体と連携しつつ、事業を着実に推進する。

また、事業効果の早期発現を図るため、関係団体と連携して関連事業の推進に努める。 なお、厚幌ダムは、国土交通省におけるダムの新たな基準に沿った検証の対象となった ことから、今後の検証動向を注視しつつ、事業を進めていく。

# <評価に使用した資料>

国勢調査(平成12年、平成17年)

農林業センサス(2000年、2005年)

北海道農林水産統計年報(農業統計市町村別編 平成12年~平成13年、平成17年~18年)

工業統計(http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/010cmn/index.htm)

商業統計 (http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/023ccm/index.htm)

農林水産省構造改善局計画部(監修)(1997)「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社 国営勇払東部土地改良事業計画書(平成14年5月北海道開発局)

国営勇払東部地区営農実態等把握調査結果(平成21年北海道開発局室蘭開発建設部胆振東部農業開発事業所調べ)

# 国営かんがい排水事業 勇払東部地区 事業概要図

